

(財)福島県体育協会 〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分行舎3号館 TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971

# SPORTS

スポーツふくしま

# FUKUSHIMA

▼銃剣道



## みんなでスポーツを!

▲題字 (財)福島県体育協会会長 佐藤 宗敏

▼フェンシング競技



▼スピードスケート



▼弓道



▲陸上400m

第15号  
2006.3

## スポーツ文化の発展



財団法人福島県体育協会副会長  
本宿 尚

マスコミが大騒ぎしたトリノ冬季五輪も先月26日無事閉幕した。入賞数21、競技終わり近くになり、荒川選手のコメダルでやっと救われたが、結果だけ論ずれば日本は惨敗したと言ってしまう。JOCのメダル最低5個の目標には遠く及ばなかった。結果はともかくとして、参加した選手はそれぞれ精一杯の努力をされたと思う。改めて敬意を表したい。

しかし、今回の成績不振の原因は一体どこにあるのだろうか。巷間でいろいろ言われている。いわゆる、選手層がうすくなった競技、選手自身のメンタルトレーニングの不足、過保護、練習環境の不備、資金難等々であるが、私は一言で云えば日本のスポーツの歴史の短さによるスポーツ人口の層の浅さによるものと考えたい。現在のままで推移すれば、国際的大イベントがある度に大きな期待と惨めな失望を繰り返すことになるであろう。日本人の中に本当のスポーツ好きを如何に増やすかが、これからの本県を含めて日本の課題と考える。

そもそも我が国では学生時代、若い時代といつてよいが、その時期を過ぎてから何パーセントがスポーツに関心を持っているだろうか。たとえ自分が実際にスポーツをやらなくても、せめて競技場に足を運びスポーツ観戦をする人を加えても先進国の中で低い位置にある様に思われる。

勿論、明治時代に我が国に入ってきた、バースポール、サッカー、ラグビー陸上競技、水泳等あらゆるスポーツが欧米から入ってきたのである。それより以前に相撲、剣道、空手、柔術が古来よりあったが、それらは身体を鍛え、あるいは武士としての精神を身につけるための鍛錬として行われてきた。本来ゲームの勝敗を目的にするものではなかった。勿論、団体戦なるものも存在しなかった。日本人にはスポーツのもともとの意味である余暇、楽しさを味わえる環境がなかったと言える。それが明治維新後の教育の重視から学制が整備され、教育の一環として体育という意味でスポーツが学校に取り入れられた。そこには楽しさも面白さも少なく、本来自発的に行うスポーツがなかば強制されたものとしての経験しか残らなかった。その結果、社会人になると大勢の人がスポーツに全く無縁になってしまう様になった。また社会も学業を終え

た人々がスポーツを身近に楽しめる環境の整備に力を入らなかったのも事実である。また、企業は好況の時には宣伝の手段としてスポーツを後援したが、決して自社の職員のためのスポーツはなかった。そこでやっと我が国でも、総合型地域スポーツの育成という芽が出てきたが、これもどこか勢いが無い。もし、中学校区単位にスポーツクラブをつくることを目標にしているとすれば、その学区内の小学校、中学校の体育施設を見直すことから始めなければならない時ではないだろうか。この財政難の時代に荒唐無稽な話と一笑に付されるかもしれないが、次のことを提案したい。

体育館は競技をプレイする場だけでなく、家族、地域住民の交流の場であるために、まず、観客のスペース、それは小さいものでよいと思うが、試合を見る親、兄弟が座れる席をつくること。男女の更衣室、シャワールーム、欲を言えば談話室も欲しい。この体育施設を生徒が下校後の時間から夜間一定時間、一般に開放してもらえば社会人のスポーツ離れは相当程度解消されると考えられる。

次に提言したいのは、小中高校庭の芝生化である。これも予算面、その後の管理、育成等の多くの難題があることは承知のことだ。しかし、子供達に安心して転べるグラウンドをつくるのが、運動能力の発達を促すのである。長じてはサッカー、ラグビー、ホッケー等の愛好者が増え、名選手、また一般人のプレイも増えること必定であろう。芝の管理育成は地域住民、保護者も一役買って良い筈である。難しい事とは思いますが少しずつでも全国に先がけて、本県に一校でも二校でも夢の体育館、芝の校庭を持つ学校が出現してほしいものである。

元来スポーツは、身体を動かす文化、遊びの文化である。勿論才能を育み、英才教育で選手を育てることも大切であるが、福島県民が他県と比較してスポーツを愛する人が増え、その中から感性のある高い人間性を持った優秀な選手、チームが多数出現する時に、はじめて真の意味でのスポーツ王国福島誕生と誇れる様になると思う。

### もくじ

ページ		ページ	
1	活躍する福島県選手	12	生涯スポーツ実践者の紹介「スポーツと私」
2	巻頭言		ニュースポーツ種目の紹介
3	第60回国民体育大会成績概要		「ジョイフル・スローピッチ・ソフトボール」
5	第61回国民体育大会冬季大会成績概要	13	体育施設とスポーツ教室の紹介
6	平成17年度うつくしまスポーツキッズ発掘事業報告		「びわのかけ運動公園」
7	日本一育成モデル事業報告	14	みんなで作ろう総合型！
8	財団法人 福島県体育協会「平成17年度表彰式」		「てんえいスポーツクラブ」
10	生涯スポーツコンベンション2006	15	「スポーツと健康」ワンポイント講座
	「九州熊本県にて開催！全国から約800名が参加！」		INFORMATION
11	平成17年度福島県スポーツ指導者研修会実施報告	16	平成17年度福島県県民スポーツ振興協会会員名簿
	平成17年度財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者表彰式		編集後記

表紙：スピードスケート 少年男子 5000m 8位 佐藤健司選手（写真提供：福島民友新聞社）  
弓道 少年女子 近的 優勝（写真提供：福島民友新聞社） 陸上 400m 優勝 佐藤光浩選手（写真提供：福島民友新聞社）  
フェンシング 競技サーブル 成年男子 優勝（写真提供：福島民友新聞社） 銃剣道 成年男子 優勝（写真提供：福島民報社）



# 第60回国民体育大会成績概要

## 1 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数			
						役員	監督等	選手	合計
冬季大会	スケート競技会	平成17年1月30日(日)~2月3日(木)	山梨県富士吉田市 他	星 本文	2	14	5	39	58
	アイスホッケー競技会	平成17年2月2日(水)~2月6日(日)	東京都渋谷区 他						
	スキー競技会	平成17年2月22日(火)~2月25日(金)	岩手県安代町	浅川 静英	1 (1)	15	6 (21)	52 (5)	73 (26)
夏季大会		平成17年9月9日(金)~9月13日(火)	岡山県倉敷市 他	平出 孝朗	9	17	28 (19)	124 (4)	169 (23)
秋季大会		平成17年10月22日(土)~10月27日(木)	岡山県岡山市 他	佐藤栄佐久	26	18	52 (57)	319 (22)	389 (79)

※1 参加競技数の( )はバياسロンで外数 ※2 派遣人数の( )は競技団体派遣者で外数 ※3 スケート・アイスホッケー競技会の監督のうち1名は選手兼任

## 2 競技成績

大会	区分	天皇杯				皇后杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位
冬季大会	総合	22.0点	30点	52.0点	24位	10.0点	20点	30.0点	22位
	スケート競技会	10.0点	10点	20.0点	23位	2.0点	10点	12.0点	21位
	アイスホッケー競技会	0.0点	10点	10.0点	12位	-	-	-	-
	スキー競技会	12.0点	10点	22.0点	14位	8.0点	10点	18.0点	9位
夏季大会		123.0点	90点	213.0点	27位	37.0点	90点	127.0点	32位
秋季大会		471.5点	280点	751.5点	15位	141.5点	190点	331.5点	20位
合計		616.5点	400点	1016.5点	21位	188.5点	300点	488.5点	26位



ボクシング 成年男子 フライ級 優勝 須佐勝明選手(東洋大学)  
(写真提供: 福島民報社)



テニス 成年女子 優勝  
加藤沙絵選手(郡山テニスクラブ)  
(写真提供: 福島民友新聞社)



自転車 3年連続総合優勝 (写真提供: 福島民友新聞社)



レスリング 少年男子  
グレコローマン96kg 優勝 湯田拓巳選手(田島高校) 写真左  
グレコローマン74kg 3位 渡部友章選手(田島高校) 写真右  
(写真提供: 福島民友新聞社)

3 秋季大会入賞者一覧

陸上競技		競技得点81点		天皇杯9位		皇后杯2位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属	種別	種目				
成年男子	100m	2	7	宮田 貴志	あぶくほ健康学校教員	成年女子	100m				
	400m	1	8	佐藤 光浩	富士通		400m				
	ハーフマラソン	6	3	酒井 俊幸	宇治石川高校教員		800m				
少年男子	800m	1	8	丹野 麻美	福島大学2年	少年女子	1000mW				
	5000m	7	2	高橋ゆかり	しまむら		A 800m				
	10000mW	4	5	鈴木 奏美	筑波大学1年		A やり投げ				
	A 800m	6	3	佐藤 大樹	橋高校3年		A 400mH				
	A 400mH	5	4	舟山 萌美	橋高校3年		A 1500m				
少年女子	B 200m	8	1	阿部かずみ	福島高校1年	B 200m	4	5	橋本富美子	いわき総合高校2年	
	B 800m	4	5	柳沼 志帆	郡山東高校1年	B 800m	8	1	阿部かずみ	福島高校1年	
	B 走幅跳	5	4	三浦 茉莉	橋高校1年	共 砲丸投	5	4	柳沼 綾	日大東北高校2年	
	共 砲丸投	4	5	柳沼 綾	日大東北高校2年	成少女子	4×100mR	4	5	松本真理子	福島三中学校教員
	成少女子	4×100mR	4	5	松本真理子		福島三中学校教員	丹野 麻美	福島大学2年		
					紺野可奈子		橋高校3年	舟山 萌美	橋高校3年		
					阿部かずみ		福島高校1年				
				三浦 茉莉	橋高校1年						

ボクシング競技		競技得点35点		天皇杯2位	
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	フライ級	1	8	須佐 勝明	東洋大学3年
	ライト級	5	2.5	高倉 邦幸	大夏文化大学4年
	ライトウェルター級	3	5.5	遠藤 広大	平成国際大学3年
	ウェルター級	3	5.5	佐藤 矩彰	法政大学3年
少年男子	ライトフライ級	3	5.5	片山聡一郎	磐城第二高校1年
	フェザー級	5	2.5	草野 隼人	磐城第二高校2年
	ウェルター級	3	5.5	高田 大将	福島明成高校2年

レスリング競技		競技得点16点		天皇杯33位	
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	フリースタイル74kg級	5	2.5	長島 和幸	クリナップ(株)
少年男子	グレコ-roman74kg級	3	5.5	渡部 友章	田島高校2年
	グレコ-roman96kg級	1	8	渡田 拓巳	田島高校3年

ウエイトリフティング競技		競技得点52点		天皇杯7位	
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	53kg級 スナッチ	6	3	佐久間勝彦	セビオ(株)
	94kg級 スナッチ	7	2	本多 滋	法政大学2年
	+105kg級 スナッチ	5	4	寺島 啓史	日本大学2年
	+105kg級 クリアリフト	7	2	寺島 啓史	日本大学2年
少年男子	53kg級 スナッチ	4	5	菅野太紅麻	川俣高校3年
	53kg級 クリアリフト	2	7	菅野太紅麻	川俣高校3年
	62kg級 スナッチ	1	8	黒江 雄治	田村高校3年
	62kg級 クリアリフト	1	8	黒江 雄治	田村高校3年
	105kg級 スナッチ	1	8	菅野 幸治	川俣高校3年
	105kg級 クリアリフト	4	5	菅野 幸治	川俣高校3年

ライフル射撃競技		競技得点6点		天皇杯33位・皇后杯22位	
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年女子	10mS40WJ	3	6	佐藤栄里子	桜の聖母学院高校3年

テニス競技		競技得点45点		天皇杯3位・皇后杯4位	
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		2	21	福島県	
				竹下 和史	新井川外大附属
				吉川 真司	郡山テニスクラブ
成年女子		1	24	福島県	
				田口 景子	(財)福島県体育協会
				加藤 沙絵	郡山テニスクラブ
				大竹 愛	日本大学1年

自転車競技		競技得点62点		天皇杯1位		
種別	種目	順位	得点	選手名	所属	
成年男子	1kmタイムトライアル	3	6	小豆畑都也	日本大学2年	
	4km団体追抜競走	2	21	福島県		
少年男子	個人ロード	5	4	佐伯 翔	平工業高校3年	
	個人ロード	6	3	渡邊 正光	平工業高校3年	
	4km速度競走	5	4	渡邊 正光	平工業高校3年	
	4km団体追抜競走	1	24	福島県		
					我妻 敏	宇治石川高校3年
					渡邊 正光	平工業高校3年
				小野寺悠太	平工業高校3年	
				佐伯 翔	平工業高校3年	
				須佐 優太	白河実業高校2年	

馬術競技		競技得点23点		天皇杯13位・皇后杯19位	
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	二段階障害飛越競技	7	2	木下真利子	福島大学4年
	セトジョージ賞典馬場馬術競技	8	1	岡 奈緒美	東北工科大学
少年男子	標準障害飛越競技	5	4	鶴崎 亨	相馬農業高校3年
	ジュニアライダー馬場馬術競技	3	6	伴 春田	岩瀬農業高校3年
	自由演技ジュニアライダー馬場馬術	4	5	伴 春田	岩瀬農業高校3年
	リレー競技	4	5	吉田 賢人	双葉高校1年
					吉田 学人

ハンドボール競技		競技得点12.5点		天皇杯15位・皇后杯10位	
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子		5	12.5	福島県	
				佐佐藤 雄次	郡山高校教員
				瀬谷 裕美	澁川中学校教員
				鈴木まさみ	(財)福島県体育協会
				植田久美子	福島西高校教員
				阿部 紀子	福島県立生活学習館
				橋 由香里	橋高校教員
				小林 和恵	茨城大学4年
				西坂 純	茨城大学3年
				吉田 知子	尚志高校教員
				阿部百合子	日本女子体育大学3年
				大河内 香	茨城大学1年
				緑川 恵美	盛岡学院短期大学
				菅井 歩希	東北福祉大学1年

弓道競技		競技得点39点		天皇杯8位・皇后杯7位	
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	近的	4	15	福島県	
				佐々木 健志	日大東北高校教員
				熊田 英雄	エッジズ郡山DO
				佐藤 都也	東日本理科大学2年
				小山 郁朗	県南連合サーブス
少年女子	近的	1	24	福島県	
				佐千葉 聡	福島商業高校教員
				大谷由美子	福島商業高校3年
				遠藤真利子	安積黎明高校3年
				清野 仁美	福島商業高校3年

クレー射撃競技		競技得点24点		天皇杯2位	
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	トラップ	3	18	福島県	
				佐藤根 宏一	福島県クレー射撃協会
				鈴木 俊哉	(有)鈴木鉄砲火薬店
				大竹 淳	(有)大竹鉄砲店
				大嶋 寛二	(有)ゼットワゴン
	スキート	7	6	福島県	
佐藤根 宏一				福島県クレー射撃協会	
				駒木根裕剛	(株)コマデン
				鈴木 正一	(有)スズキマタハチ
				佐藤 茂	(株)浦藤通信



ソフトボール競技 競技得点40点 天皇杯13位・皇后杯8位											
種別	種目	順位	得点	選手名	所 属	種別	種目	順位	得点	選手名	所 属
少年男子		5	20	福島県		少年女子		5	20	福島県	
				佐柳沼 善久	郡山北工業高校教員					佐安藤 人司	福島東積高校教員
				菊地 広容	小高工業高校3年					中村 夏子	福島東積高校3年
				菅野 直哉	小高工業高校3年					長谷川 恵理	福島東積高校3年
				長尾 康介	福島東積高校3年					今泉 春菜	福島東積高校3年
				池澤 竹葉	福島東積高校3年					小野あゆみ	福島東積高校3年
				菅渡 正樹	郡山北工業高校3年					武藤 理恵	帯京安積高校3年
				渡辺 匡	郡山北工業高校3年					平沢 由希	帯京安積高校3年
				遠藤 主税	郡山北工業高校3年					矢渡 敬子	帯京安積高校3年
				佐藤 輝	郡山北工業高校2年					佐藤 増美	帯京安積高校3年
				長谷川 雅人	郡山北工業高校2年					高槻ひとみ	帯京安積高校3年
				吉田 伸	郡山北工業高校2年					板倉 美里	帯京安積高校3年
				吉田 仁	郡山北工業高校2年					加藤 亜衣	帯京安積高校3年
				柳沼 正孝	郡山北工業高校1年					内村さおり	郡山東高校3年
				阿達 鉄平	安積高校3年					渡邊佳央里	浪江高校3年
				永沼 竜二	郡山北工業高校2年					佐藤 由香	浪江高校3年
				大森 偉心	郡山北工業高校2年					石沢麻梨沙	李法石川高校3年
										棚川 汐里	磐城農業高校3年

山岳競技 競技得点12点 天皇杯21位・皇后杯19位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所 属
成年男子	縦 走	5	12	福島県	
				佐佐藤 章一	安達町役場
				菅野 富寿	南陽市立おひね病院
				眞松 孝道	福島学院大学職員
				半田佑之介	頤徳塾加減塾塾長

銃剣道競技 競技得点24点 天皇杯2位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所 属
成年男子		1	24	福島県	
				佐阿部 稔	福島自衛隊
				中島 克直	郡山自衛隊
				坂本 勝彦	福島自衛隊
				佐藤 亨	福島自衛隊

## 第61回国民体育大会冬季大会成績概要

### 1 参加状況

大会	区分	会 期	開 催 地	団 長	参 加 競技数	派 遣 人 数			
						役員	監督等	選手	合計
冬季大会	スケート競技会 アイスホッケー競技会	平成18年1月28日(土) ～2月1日(水)	北海道苫小牧市	山口 勇	2	14	6	36	56
	スキー競技会	平成18年2月19日(日) ～2月22日(水)	群馬県片品村	浅川 静英	1	13	6 (14)	51 (14)	70 (14)
	合 計								

※1 派遣人数の( )は競技団体派遣者で外数 ※2 スケート・アイスホッケー競技会の監督のうち2名は選手兼任

### 2 競技成績

大会	区分	天 皇 杯				皇 后 杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順 位	競技得点	参加得点	得点合計	順 位
冬季大会	スケート競技会	13.0点	10点	23.0点	21位	5.0点	10点	15.0点	21位
	アイスホッケー競技会	0.0点	10点	10.0点	14位	-	-	-	-
	スキー競技会	3.0点	10点	13.0点	20位	0.0点	10点	10.0点	16位
合 計		16.0点	30点	46.0点	28位	5.0点	20点	25.0点	24位



スキー 成年男子 C大回転 第6位  
木村邦裕選手(渡部産業)

### 3 入賞状況

スケート競技		競技得点13.0点		天皇杯21位		皇后杯21位					
種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属	種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
スピード	成年男子 500m	6	3	野 内 俊 吾	日本体育大学3年	ショートトラック	成年男子 500m	8	1	潮 谷 和 三	山梨学院大学3年
	少年男子 5,000m	6	3	佐 藤 健 司	郡山北工業高等学校3年		少年男子 1,000m	4	5	渡 辺 唯	郡山商業高等学校2年
	少年男子 10,000m	8	1	佐 藤 健 司	郡山北工業高等学校3年						

スキー競技		競技得点3.0点		天皇杯20位		皇后杯16位					
種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属	種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年男子	ジャンプ/スロム	6	3	木 村 邦 裕	渡部産業(株)						



スケート ショートトラック  
少年女子 1,000m  
第4位 渡辺 唯選手  
(郡山商業高等学校)  
(写真提供: 福島民報社)

# 平成17年度うつくしまスポーツキッズ発掘事業報告

## 1 本事業の目的

本事業は、将来有望なジュニア層を対象に、一貫した指導理念のもとでスポーツ教室や練習会等を実施し、競技に適した人材（タレント）の発掘や他競技への適性に係わる助言などを行い、優秀な人材を発掘・育成することを目的に今年度からスタートした。

## 2 実施方法

本年度は、競技団体が主体となって適性テストやスポーツ体験教室を実施する「第1ステージ」と、本協会が主体となって神経系の発達を促すようなトレーニングやスポーツ運動を体験する「第2ステージ」に分けて実施。

第1ステージにおいて、優れた運動能力を認められた30名が「うつくしまスポーツキッズ」として第2ステージに参加した。

## 3 第1ステージ 実施競技団体

体操（体操競技・新体操）、バスケットボール、ハンドボール、ラグビーフットボール、スキー（クロスカントリー・ジャンプ）、テニス、銃剣道、ソフトテニス、フェンシング、スケート、アイスホッケー

## 4 第2ステージ 実施報告

実施日	会場	内容	講師
平成18年1月14日	福島市国体記念体育館	コーディネーション・トレーニング①	吉田貴史氏 (福島市立土湯小学校教諭)
		タグラグビー体験教室	紺野宗作氏 (福島市立福島第一小学校教諭)
平成18年2月5日	福島市国体記念体育館	コーディネーション・トレーニング②	吉田貴史氏 (福島市立土湯小学校教諭)
		「走るための動きづくり」教室	川本和久氏 (福島大学 陸上競技部監督)
平成18年3月12日	磐梯熱海アイスアリーナ	アイスホッケー体験教室	水野英暢氏 (県立郡山北工業高校教諭)



## 5 成果と課題

「タレント発掘」という新たな分野に踏み出すことによって、「発掘とは何か」「発掘規準はどのように設定すべきか」「対象年齢は？」など、さまざまな課題が生まれたが、会津大学の中澤謙先生をはじめ、高い専門知識を有する方々の御支援と御協力をいただき初年度の事業が終了した。

第1ステージにはのべ1,100名あまりのキッズが参加。興味を持ったスポーツに初めてチャレンジしたり、自分の能力を伸ばすプログラムに参加するなど、元気に活動した。また第2ステージでは、各競技団体から推薦された30名のキッズが参加し、ゴールデンエイジの時期に最適なコーディネーション・トレーニングや、氷上でのバランス能力を必要とするアイスホッケー体験教室などに積極的に取り組み、楽しみながらも次々と高度な運動課題をクリアしてその能力の高さを示した。

次年度は、実施方法や内容について検討を重ねながらより多くの子どもたちにチャレンジの機会を与えられるように事業を展開し、未来のトップアスリートを発掘することももちろん、キッズの頃からスポーツを楽しむ環境づくりにも寄与していきたい。

## 日本一育成モデル事業報告

2年間にわたって実施された郡山東高校のハンドボール部が終了し、本年度からバドミントンの日本一育成が始まりました。指定された高校は男子が帝京安積高校で女子が尚志高校です。まもなく1年が経過しますが、昨年までと同様に福島大学の白石先生を委員長として13名のプロジェクト委員が各種サポートを通して選手の育成に努めました。



帝京安積高校

### サポート内容

メンタルサポート	メンタルトレーニング指導
フィジカルサポート	体力トレーニング指導、体力測定、栄養指導、ボディケアの指導
メディカルサポート	メディカルチェック、医事相談
テクニカルサポート	県内外優秀指導者の招聘、強豪チーム・選手との練習試合の設定
情報の提供	日本バドミントン協会・日本体育協会等の情報提供



尚志高校

先日開催された東北選抜バドミントン大会では、帝京安積高校の男子団体、尚志高校の女子シングルスで第2位になった野尻野匡世選手が全国選抜大会の切符を手に入れました。全国選抜大会は3月24日から27日まで福島県敦賀市で開催されます。活躍を期待します。

### プロジェクト委員紹介

	役職	氏名	サポート	所属
1	委員長	白石 豊	メンタル	大学法人福島大学人間発達文化学類教授
2	委員	川本 和久	フィジカル	大学法人福島大学人間発達文化学類教授
3	委員	堀川 哲男	メディカル	公立藤田総合病院 医師
4	委員	鬼澤 武則	フィジカル	公立藤田総合病院 アスレチックトレーナー
5	委員	山崎有理子	フィジカル	公立藤田総合病院 管理栄養士
6	委員	菊池 辰夫	メディカル	菊池医院 院長
7	委員	斎藤 伸也	メディカル	柴宮整形外科医院 院長
8	委員	須藤 博	テクニカル	福島県バドミントン協会 会長
9	委員	吉田 邦男	テクニカル	福島県バドミントン協会 理事長
10	委員	寺田 繁	テクニカル	福島県バドミントン協会 強化委員長
11	委員	高上 美鳳	テクニカル	(財)福島県体育協会
12	委員	橋本 遊二	監督	帝京安積高校監督
13	委員	竹俣 洋平	監督	尚志高校監督



# 財団法人福島県体育協会 平成17年度表彰式

平成17年度財団法人福島県体育協会表彰式は、平成17年11月29日(火)午前10時より福島市の「ウエディングエルティール」で開催されました。  
式では、各賞受賞代表者に会長の佐藤栄佐久知事より表彰状と記念品が授与され、県議会議員の桜田葉子様、県教育長富田孝志様より祝辞があり、受賞者を代表して遠藤和臣様より

謝辞がありました。  
懇談会では、受賞者と会長とのスナップ撮影や、会長をはじめ来賓の皆様より受賞者一人ひとりへお祝いと激励がなされました。  
今回受賞された皆様をご紹介します。(敬称は省略させていただきます。なお、所属は成績を残した時のものです。)



## ■スポーツ功労賞者■ (多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々)

藤田 晴史(福島県ソフトテニス連盟)	遠藤 宏昭(福島県テニス協会)	梅宮 勇治(福島県剣道連盟)	遠藤 和臣(福島県ソフトボール協会)
渡辺 文幸(福島県バレーボール協会)	矢橋 俊夫(福島県カヌー協会)	石井 賢明(福島県ゲートボール協会)	兼谷 宏(県北地域連合会)
菅田 省治(県中地域連合会)	橋本 利顕(県中地域連合会)	馬場 有(相双地域連合会)	君島 義孝(県中地域連合会)

## ■優秀選手賞(個人)■ (本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた選手及び国際大会に出場した選手)

<b>陸上競技</b>	瓜生 朱音(県立郡山東高等学校3年)	大橋 忠司(国士館大学4年)	梶 将徳(白河市立白河第二中学校3年)	菊池 敦郎(県立原町高等学校3年)
	佐藤 大樹(県立権高等学校3年)	佐藤 庸平(県立白河地高等学校2年)	鈴木 奏美(筑波大学1年)	沼川 隆博(県立喜多方高等学校3年)
	丹野 麻美(福島大学2年)	山野辺 薫(筑波大学1年)	吉田真希子(財)福島県体育協会	村上 康樹(順天堂大学4年)
	山田 啓太(県立安積高等学校3年)	遠野 恭平(会津若松市立長小小学校3年)	宮田 貴志(あぶくま養護学校)	佐藤 北清(富士通(株))
	伊藤 彰(喜多方市立第一中学校1年)	渡部 和美(新地町立尚英中学校1年)	正木友佳子(鏡石町立鏡石中学校2年)	五十嵐 圭(青井町立西倉津中学校1年)
	高橋 尚寛(いわき市立泉中学校1年)	田嶋 和也(白河市立白河第二中学校3年)		
<b>剣道</b>	渡邊 悠太(県立若松商業高等学校3年)			
<b>ボート</b>	福地 愛(仙台大学3年)	鈴木 隆広(県立湖南高等学校3年)	磯貝寛代伸(富山国際大学4年)	
<b>水泳</b>	三浦 俊樹(財)都市公園緑化協会	高橋 恵美(保原町立松陽中学校2年)	加藤 和(学校法人松野高等学校1年)	山田 浩平(相馬市立向陽中学校3年)
	橋本美沙紀(郡山市立明健小学校5年)	江川 克彦(日本体育大学1年)	西川 友章(県立清陵情報高等学校)	非(郡山女子大学3年)
<b>自転車</b>	小林 彰夫(中央大学4年)	明珍 昭兵(法政大学4年)	渡邊 正光(県立平工業高等学校3年)	我妻 敏(学校法人石川高等学校3年)
	永賀 賢司(日本大学4年)	小野寺悠太(県立平工業高等学校3年)	佐伯 翔(県立平工業高等学校3年)	真船 拓磨(日本大学2年)
	小豆畑郁也(日本大学2年)	橋本 龍弘(学校法人石川高等学校2年)	明珍多久雄(日本大学)	
<b>ライフル射撃</b>	佐藤栄里子(学校法人桜の聖母学院高等学校3年)			
<b>バドミントン</b>	増子 トキ(無職)	吉田 邦男(ゼビオ株式会社)	遠藤夫美子(無職)	
<b>アマチュアボクシング</b>	佐藤大吾郎(県立平工業高等学校3年)	細野 悟(大橋ジム)	遠藤 広大(平成国際大学3年)	須佐 勝明(東洋大学3年)
	佐藤 矩彰(法政大学3年)	片山聡一郎(学校法人山崎学園福島県磐城第二高等学校1年)		高田 大将(県立福島明成高等学校2年)
<b>乗道</b>	鈴木 貴之(県立田村高等学校3年)			
<b>スキー</b>	上野 修(ホテルリステル猪苗代)	小松山千佳(郡山自衛隊)		
<b>スケート</b>	渡邊 唯(県立郡山商業高等学校2年)			
<b>馬術</b>	伴 春臣(県立岩瀬農業高等学校3年)			
<b>ウエイトリフティング</b>	黒江 将伸(日本大学2年)	黒江 雄治(県立田村高等学校3年)	鈴木 学(県立川俣高等学校3年)	菅野 幸治(県立川俣高等学校3年)
	丹伊田裕真(明治大学1年)	佐藤 康士(中央大学2年)	木多 滋(法政大学2年)	清野 裕司(県立相馬農業高等学校)
	鈴木 宗胤(県立石川高等学校)	菅野太紅麻(県立川俣高等学校3年)	室越 隆史(平成国際大学2年)	
<b>レスリング</b>	清水聖志人(クリナップ(株))	長島 和幸(クリナップ(株))	渡部 友章(県立田島高等学校2年)	渡部 沙織(県立田島高等学校1年)
	渡部 悠香(県立田島高等学校3年)	望井 麻里(田島町立荒海中学校3年)	渡部由佳梨(田島町立荒海中学校3年)	湯田 拓巳(県立田島高等学校3年)
<b>フェンシング</b>	鈴木 智行(いわき市立小名浜東小学校6年)			
<b>銃剣道</b>	中島 克直(第6特科連隊第3大隊)			
<b>クレール射撃</b>	大竹 淳((有)大竹銃砲店)			
<b>セーリング</b>	高橋 香(県立磐城桜が丘高等学校3年)			
<b>空手</b>	山内 智章(学校法人福島高等学校3年)			
<b>ボウリング</b>	竹俣 栄那(会津若松市立若草高等学校1年)	阿曾 孝敏(県立福島商業高等学校2年)	林 さおり(県立平商業高等学校3年)	中田 明(福浜大一建設(株))
	伊藤 丈((株)東北装美)			
<b>カヌー</b>	小泉 公道(県立安達高等学校3年)	斎藤 正吉(県立安達高等学校3年)	久野 綾香(県立安達高等学校3年)	佐藤由美子(筑波大学4年)
	美穂(県立安達高等学校3年)	菅野 瑞穂(県立安達高等学校3年)	鉄地川原 歩(大正大学4年)	和田 恭平(県立二本松工業高等学校2年)
	小島 聡(日本体育大学4年)	阿部 公貴(日本体育大学3年)	佐藤 遼(丸や運送)	
	國崎 諭(県立安達高等学校2年)	根本 孝幸(県立安達高等学校2年)	橋本 亜季(県立安達高等学校2年)	
<b>トランポリン</b>	後藤 健(学校法人尚志学園尚志高等学校1年)		和田 拓也(学校法人尚志学園尚志高等学校3年)	
<b>トライアスロン</b>	西内 洋行(県トライアスロン協会)			
<b>障害者スポーツ</b>	鈴木 猛史(県立猪苗代高等学校2年)	八巻 智美(郡山市若久田行政センター)	佐藤 聡(無職)	



■優秀選手賞(団体)■ (本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた団体)

<b>陸上競技</b>	第32回全日本中学校陸上競技選手権大会400mリレー白河市立白河第二中学校、第74回日本学生陸上競技対校選手権大会女子4×100mR福島大学、第74回日本学生陸上競技対校選手権大会女子4×400mR福島大学、第60回国民体育大会陸上競技成年女子4×100mR福島県、第36回ジュニアオリンピック陸上競技大会男子共通4×100mR福島県
<b>軟式野球</b>	高門宮陽杯第25回全日本学童軟式野球大会常磐軟式野球スポーツ少年団
<b>テニス</b>	第60回国民体育大会テニス競技成年男子福島県、第60回国民体育大会テニス競技成年女子福島県
<b>剣道</b>	第47回全日本教職員剣道大会男子団体福島県教職員チーム
<b>ボート</b>	第55回全日本社会人ボート選手権大会男子ナックルフォア會津禮漕會
<b>自転車</b>	第40回全国都道府県対抗自転車競技大会4Kmチームパーシュート福島県選抜チーム、第60回国民体育大会自転車競技成年男子4Km団体追抜走福島県、第60回国民体育大会自転車競技少年男子4Km団体追抜走福島県
<b>バスケットボール</b>	第43回男子全日本教員バスケットボール選手権大会福島教員A
<b>バドミントン</b>	平成17年度全日本教職員バドミントン選手権大会男子団体福島選抜
<b>弓道</b>	第23回全国高等学校弓道選抜大会女子団体福島県立会津学鳳高等学校、第52回全日本勤労者弓道選手権大会福島県教職員チーム、第60回国民体育大会弓道競技成年男子近の福島県、第60回国民体育大会弓道競技少年男子近の福島県
<b>ソフトボール</b>	第10回全日本レディースソフトボール大会福島編りファイナンス
<b>バレーボール</b>	ペパスカップ第25回記念全日本バレーボール小学生大会尚英ガッツジュニアバレーボールクラブ
<b>フェンシング</b>	第60回国民体育大会フェンシング競技成年男子サーブル福島県、第6回全国少年フェンシング団体選手権大会小学生男子いわきフェンシングスポーツ少年団、第6回全国少年フェンシング団体選手権大会中学生男子川俣町立川俣中学校
<b>銃剣道</b>	第49回全日本銃剣道優勝大会一般第一部福島県連盟チーム、第60回国民体育大会銃剣道競技成年男子福島県
<b>クレー</b>	第60回国民体育大会クレー射撃競技成年トラップ福島県
<b>カヌー</b>	平成17年度全国高等学校カヌー選手権大会女子カヤックフォア200m福島県立安達高等学校、平成17年度全国中学生カヌー大会K4-500m東和町立東和中学校
<b>トランポリン</b>	第30回全国高等学校トランポリン競技選手権大会男子団体学校法人尚志学園尚志高等学校、第30回全国高等学校トランポリン競技選手権大会女子団体学校法人尚志学園尚志高等学校
<b>綱引</b>	2005全日本ジュニア綱引選手権大会MY1 480Kg若宮スピリッツ、2005全日本ジュニア綱引選手権大会MY1 480Kg飯中マックス、2005全日本ジュニア綱引選手権大会MJ3 360Kgヤングブラザーススポーツ少年団

■優秀指導者賞■ (優秀選手の育成に直接貢献した指導者)

<b>陸上競技</b>	川本 和久 (大学法人福島大学) 近藤 仁一 (鏡石町立鏡石中学校) 松村 雅人 (白河市立白河第二中学校) 鈴木 仁 (県立白河旭高等学校) 天井 正之 (いわき市消防本部) 吉崎 勝 (県立磐城高等学校) 田崎今日見 (県立白河実業高等学校) 中野目 啓 (県立白河高等学校) 渡邊 拓也 (県立本宮高等学校) 野宮 正城 (財)福島県都市公園・緑化協会) 星野 重洋 (会津学鳳高等学校) 今泉 健志 (日本大学東北高等学校) 千葉 聡 (県立福島商業高等学校) 滝田英里子 (郡山信用金庫(大槻支店)) 星 義一 (株)東北技研)	<b>ウエイトリフティング</b> 長南 国彦 (県立川俣高等学校) <b>フェンシング</b> 鈴木 生央 (福島整肢療養園) 今野 貴子 (川俣町立川俣中学校) <b>銃剣道</b> 佐々木隆雄 (伐林業) 阿部 聡 (第44普通科連隊) <b>クレー</b> 諸根 安一 (福島県クレー射撃協会) <b>ボウリング</b> 伊藤 寛 (郡山市中学校給食センター) <b>カヌー</b> 小久保英一知 (県立安達高等学校) 齋藤 里加 (東和町立東和中学校) 嶋原 恵子 (県立二本松工業高等学校) <b>トランポリン</b> 遠藤 静子 (学校法人尚志学園尚志高等学校) <b>引</b> 笠原 則人 (ダイハツ福島坂下店) 大内 俊勝 (農業) 小野田浩宗 (サンフォート浪江)
-------------	---	--

■社会体育優良団体賞■ (地域・職域のクラブとしての活動を通して、本県の地域スポーツ振興に功績のあった団体)

・みやたクラブ (福島県卓球協会) ・郡山ソフトボール協会 (福島県ソフトボール協会)

■特別賞■ (国民体育大会の競技別優勝や世界大会で特に顕著な活躍をした団体・個人)

山口 雅文 第23回 ユニバーシアードズミル大会 (トルコ) において、水泳競技の100m背泳ぎで第1位 (金メダル)、50m背泳ぎ・200m背泳ぎで第3位 (銅メダル) さらに男子400mメドレーリレーにおいて第3位 (銅メダル) を獲得した。  
佐久間勝彦 高校3年時、昭和62年国民体育大会 (沖縄) で初優勝して以来、通算で17回本県代表として出場、競技得点130点という高得点を獲得し本県の競技力向上に大きく貢献した。  
福島県自転車競技連盟 第60回国民体育大会において、競技別総合優勝を果たした。



生涯スポーツコンベンション2006

# 九州熊本県にて開催！ 全国から約800名が参加！

平成18年2月2日(木)～3日(金)の2日間、熊本市にあるホテル日航熊本、くまもと県民交流館パレア、鶴屋ホールにて『生涯スポーツコンベンション2006』が開催されました。

近年、自由時間の増大、体力・健康づくりへの国民の関心の高まりなどを背景にスポーツ需要が増大しており、誰もがいつでもどこでも気軽に参加できる生涯スポーツ振興のための諸条件の整備が求められています。

生涯スポーツの推進には、国や地方公共団体ばかりでなく、各種スポーツ・レクリエーション団体や、スポーツクラブ、学校関係者さらにはスポーツ関連産業団体等が、それぞれ重要な役割を果たしており、これら関係者相互の連携・協力が急務となっています。

このため、関係の各界各層の人々が一堂に会し、生涯スポーツ振興上の諸課題について、意見交換を行い、相互理解を深め、関係者間の協調・協力体制の強化と生涯スポーツ振興の気運を盛り上げることを目的として、本コンベンションを開催するものです。



## 全体テーマ 『豊かなスポーツ環境の創出に向けて』

現在、国民の誰もが身近な地域で気軽にスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現が求められています。住民にとって日常生活の場である地域社会において、スポーツがより身近な生活文化として定着するよう「スポーツ振興基本計画」に基づく最重点施策となる総合型地域スポーツクラブの育成を中心に、国、地方公共団体、民間等が一堂に会し、様々な視点から今後の地域のスポーツ環境に対する検討を進め、方向性を探ります。

### 主な内容

【1日目：ホテル日航熊本】 13：00～17：30

- 全体会第1部 基調講演 「スポーツの持つ可能性」  
財団法人日本サッカー協会技術委員長 田嶋幸三氏
- 全体会第2部 シンポジウム 「地域で創る豊かなスポーツ環境」  
〈コーディネーター〉 スポーツプロデューサー 杉山 茂氏  
〈シンポジスト〉 福島大学人間発達文化学類教授 黒須 充氏  
(財)日体協指導者育成専門委員会委員 佐々木秀幸氏  
山梨大学教育人間科学部助教授 中村 和彦氏  
筑波大学大学院人間総合科学研究科助教授 柳沢 和雄氏

田嶋氏の講演



シンポジウム



【2日目】 9：30～12：30

- 分科会
  - ・第1分科会 (くまもと県民交流館パレア)  
「総合型地域スポーツクラブ創設への取組」
  - ・第2分科会 (鶴屋ホール)  
「『元気の出るクラブ』づくりを目指して」
  - ・第3分科会 (ホテル日航熊本)  
「スポーツに対する意識を変える取組」  
～子どものスポーツ活動を通して、保護者もスポーツが好きになる～
  - ・第4分科会 (ホテル日航熊本)  
「今後のスポーツ指導者の養成と活動促進のあり方について」
  - ・第5分科会 (ホテル日航熊本)  
「指定管理者制度の実施とモニタリングに至るまで」



各分科会の様子

次回行われる  
『生涯スポーツコンベンション2007』は  
**福島県で開催**されます！



## 平成17年度福島県スポーツ指導者研修会実施報告

本県には財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者が約2,000名おります。それぞれ地域スポーツ指導や競技力向上等を目的とした資格を所有している方たちですが、この資格を更新するためには基本的に4年に1回以上は義務研修を受けなければなりません。この義務研修会を本県では年3回行っており、有資格者たちが自己の資質向上を含め、研修に臨んでおります。ここでは、その様子をご紹介します。

第1回：平成17年9月11日(日)  
サンライフ原町にて  
参加者40名



第2回：平成17年12月3日(土)  
郡山ユラックス熱海にて  
参加者192名



第3回：平成18年2月5日(日)  
あづま総合体育館にて  
参加者71名



※(財)日本体育協会公認スポーツ指導者のみならず、義務研修は有効期限の6ヶ月前までに受けましょう。  
※競技・資格により、別に定められた研修を受けなければ、更新できないものもあります。

## 平成17年度財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者表彰式

期日：平成17年12月10日(土) 会場：赤坂プリンスホテル

(財)日本体育協会では養成された指導者の、より一層の資質向上と連帯感を深め、組織的活動による指導体制づくりを積極的に推進するため、公認スポーツ指導者全国研修会並びに表彰式を開催しています。



### 受賞者紹介

福島県水泳連盟副会長  
村越 勤一郎氏(郡山市)  
有資格:スポーツトレーナー2級(旧資格)

この度、(財)日本体育協会公認スポーツ指導者全国表彰式に出席し、受賞の栄誉に浴したことは、大変光栄に思うと同時に恐縮に存じております。推薦をいただいた関係機関並びに関係各位に対し、衷心より感謝申し上げます。

さて、私と水泳との関わりについて述べたいと思います。東京オリンピック大会が開催された1964年の翌年、水泳人口の拡大と小中学生の泳力向上を目指して、市民水泳講習会を開成山プールにおいて開始しました。私が郡山市水泳協会理事長就任直後でありましたが、当時は小中学校にはほとんどプールのなかった時代でした。講習会は当協会公認指導員20~30名の協力のもと、夏休みの期間に実施し、10年程経過した頃には定員の200名をオーバーするまでになりました。当協会の役員が一丸となって、27

年間連続して講習会を開催し、延べ約5,000人を指導した結果、国体選手を含め、数多くの全国大会出場選手を育成することができました。また、県中水泳連盟会長に就任後は郡山カルチャーパーク飛び込みプールにおいて、1995年のふくしま国体開催を機に、県内小、中、高、大学生を対象に、郡山総合体育館の御協力を得て飛び込み競技講習会を開講し、併せて飛び込み競技のレベルアップを図るため、国際的評価の高い史恵国監督の所属する「中国上海東亜飛込クラブチーム」との合宿を実現しています。

現在までに、全国ジュニアオリンピックカップ水泳競技大会、全国中学校選抜水泳競技大会、全国高等学校選手権水泳競技大会、国民体育大会、日本学生選手権水泳競技大会等の優勝者、入賞者を輩出するとともに、団体戦では、郡山女子大学が日本学生選手権水泳競技大会に東北初となる団体総合第3位に輝く記録を達成することができました。

今後はこれらの実績をさらに伸ばすため、優秀な指導者と努力を惜しまない選手そして理解ある父兄の協力のもとに、私は全力でサポートしていきたいと思っています。

## 生涯スポーツ実践者の紹介

### スポーツと私

福島県オリエンテーリング協会副会長  
福島県ウォーキング協会理事兼事務局長  
安斎 清俊



生来運動神経が鈍く、  
体育の時間が一番苦手  
だった私ですが、登山  
だけは、運動能力が劣  
っていても、忍耐強け  
れば可能なスポーツと

して、中学以来50数年も続けてきました。中学3年生のとき、学校行事で安達太良山に登ったのが始まりで、その後高校、大学では山岳部に所属し、社会に出ても手近にある吾妻山、安達太良山、磐梯山などを歩き回りました。

昭和50年、40歳のとき、勤め先で関わったオリエンテーリング大会」の立ち上げを機に、当時体力作りのための国民的運動とされたオリエンテーリングの普及・発展に力を注いできました。この「F T Vオリエンテーリング大会」は平成11年まで25回、四半世紀も続き、

福島県オリエンテーリング協会の継続的発展の支えにもなりました。

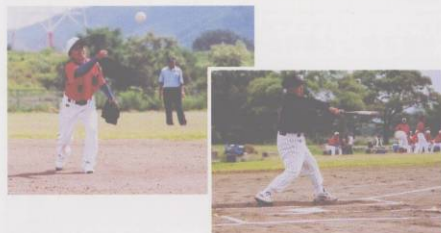
勤めを辞める1年前の平成7年、60歳のとき、福島県オリエンテーリング協会の会長だった福島大学名誉教授佐藤克己氏(故人)らに誘われ、歩け歩け運動の世界に入りました。その後10年間、ふくしま歩こう会の事務局長として、また平成11年からは福島県ウォーキング協会の事務局長にも選ばれ、クラブ月例会の実施はもちろん、「ふくしま吾妻山麓ツアーマーチ」ほか全国レベルの各種ウォーキング大会の企画運営にも当たっています。その合間を縫って、全国各地の大会にも遠征し、ウォーキング三昧の毎日です。

シルバー世代にさしかかったとき、オリエンテーリングやウォーキングなどの実践的な生涯スポーツに出会ったことが幸いして、お陰で「毎日が日曜」を返上、健康で楽しい余生を送っています。



## ニュースポーツ種目の紹介

### 「ジョイフル・スローピッチ・ソフトボール」



ソフトボールは、大正10年(1921年)アメリカ留学から帰国した東京高等師範学校教授である大谷武一氏によって日本に紹介されたことに始まり、その後の昭和20年末、アメリカ駐留軍が14インチ・スローピッチ、12インチ・ファストピッチのソフトボールを全国各所で展開したことにより徐々に普及していきました。ソフトボールという日本では「ファストピッチ」の印象が強いと思えますし、実際行われているのも「ファストピッチ」のルールです。しかし、本場アメリカでは1億2500万人がソフトボールに親しんでいますが、その80%の人たちが「スローピッチ」愛好者といわれています。日本ではまだ馴染みのないものですが、ここでその主なルールを簡単にご紹介したいと思います。

- ☆ボールは、ジョイフルスローピッチソフトボール用3号球とします。
- ☆ホームプレートの後ろにストライクマットを設置します。
- ☆金属スパイクは使用禁止とします。
- ☆守備のプレイヤーは10人です。捕手以外は、フェアグラウンド内であれば、どこに位置しても構いません。
- ☆投手は、打者の身長より高く、身長2倍の高さより低い空間を、アーチを描くように投球します。
- ☆打者がバントやチョップヒット(地面に叩きつける打法)をするとアウトです。
- ☆投球を打者が打つか、投球が地面に着く前に、走者が離塁するとアウトです。 etc.....



このほかにも独特のルールがありますが、基本は普段みなさんが親しんでいるソフトボールに準じています。ボールゲームに親しんでいる方から、ボールゲームは初めてという初心者の方や女性、子供からお年寄りまで、経験の有無や運動能力を問わず幅広く遊べるスポーツですので、興味のある方はぜひやってみてください。

#### 問い合わせ先

福島県ソフトボール協会事務局  
TEL 024-535-7534  
<http://www.fok7yomu@cocca.plala.or.jp>



体育施設とスポーツ教室の紹介

春から冬までオールシーズン、フル活動!

BIWA NO KAGE SPORTS PARK

# びわのかげ 運動公園

びわのかげ総合運動公園は、自然豊かな南会津町(旧田島町)に整備されており、さまざまなスポーツやレクリエーションが楽しめる施設となっております。

主な施設として、ナイター照明を完備し、外野は天然芝を敷いた野球場(1面)、400mトラック内外を利用した陸上競技、またサッカー場としても利用可能な多目的競技場(1面:照明付き)、そして、河川敷を利用し広々としたソフトボール場(3面)、ハードコートのテニスコート(6面)、全面芝でサッカーにも利用できる多目的広場(1面)、年配者の方々の集いの場にもなっているゲートボール場(7面)、近年ブームになっているグラウンド・ゴルフを行うにも最適な芝生広場(1面)があります。さらに、公園内の通路はジョギングやウォーキングなどにも利用できます。また、夏期のみ営業ではありますが、50mプール(全8コース)や、すべり台が設置された幼児用プールも整備されており、地域住民の健康促進を目的とした総合型スポーツ施設として数多くの方々に利用されております。



営業期間は4月上旬から11月中旬まで(冬期間は休園)となります。特に夏期は町民のみならず、首都圏からの中高生及び大学生の合宿(野球、サッカー、陸上競技、テニスなど)でも多くの利用があり親善試合や交歓会など、地域住民とのコミュニケーションの場としての役割も果たしております。

その他、スポーツ施設以外にも、小さなお子様にも楽しく遊べるブランコやすべり台などの遊具を設置したチビッコ広場も整備されております。また、公園内のサクラ、ツツジ、フジ等の植栽木は春になると美しく花が咲き、お花見などにも利用されております。新緑、紅葉など四季折々の自然を眺めながら公園内を散策して心を癒すこともできます。このように、スポーツだけではなく、家族や大切な人との憩いの場としても利用されております。

みなさん、ぜひご利用ください。



大学・学校等の  
クラブ活動の  
合宿に!

職場のサークルの  
スポーツ活動に  
ご利用ください!



問い合わせ先

財団法人田島振興公社  
TEL0241-62-2442 FAX0241-62-2910

みんなで作ろう総合型！

# てんえい スポーツクラブ

【問い合わせ先】

天栄村公民館  
TEL0248-82-2504  
FAX0248-82-2106

県中地域の南西部に位置する天栄村（人口6,800人）のスポーツクラブです。

平成16年2月1日に設立しました。

- ・クラブ員は小学生からお年寄りの方まで総勢240名で楽しく活動しています。
- ・交流事業としてスポーツフェスティバル、健康ウォーキングを実施しています。



スポ少剣道



スポーツフェスティバル



グラウンド・ゴルフサークル

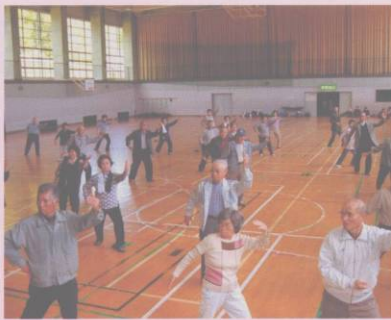
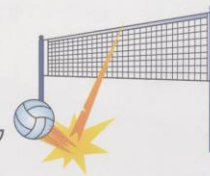
## スクール（スポ少）

- ①ソフトボール
- ②ミニバスケットボール
- ③サッカー
- ④テニス
- ⑤剣道



## サークル

- ①バレーボール
- ②テニス
- ③よさこい
- ④バドミントン
- ⑤フットサル
- ⑥グラウンド・ゴルフ
- ⑦ゲートボール
- ⑧太鼓



いつでも  
どこでも  
だれでも

毎週火曜日夜7時を体育館開放日とし、「いつでも、どこでも、だれでも」を合言葉に誰でも、気軽にスポーツに取り組めるようになっています。



# ONE POINT

(財)福島県体育協会スポーツ医・科学委員会委員長  
(社)日本医師会・(財)日本体育協会公認スポーツドクター

本宿 尚 先生



「スポーツと健康」ワンポイント講座

## ～自動体外式除細動機 (AED) について～

運動中に突然命を落とすのは、非常にショッキングなことです。それを防ぐ一つに自動体外式除細動機 (AED) があります。

突然死は35歳以下の若年者では、肥大型心筋症が多く、無症状で過ごしてきて突然重い不整脈がきて不幸な結果を来すことがあります。35歳を超えると圧倒的に多いのが、心臓を養う血管、冠動脈の硬化症、心筋梗塞や狭心症に代表される虚血性心疾患、心臓の血管の病気です。

運動中にも倒れる様なことがあったら、まず第一に人を出来るだけ呼ぶこと、患者の反応がなく呼吸が停止していたら、ただちに人工呼吸をし、AEDの電源を入れて慌てないで操作して下さい。



県体育協会では、体育館、プール等には出来るだけ本機を設置するように勧めています。また、AED操作の講習会も各地で行うようにしています。指導者は勿論、一般スポーツマンもAED操作の習熟と人工呼吸、心臓マッサージのやり方を覚えることが必要です。

どうか定期的なメディカルチェックと適切な自己管理を心がけて、スポーツを安全に長く楽しんでください。

## INFORMATION

### "スポーツなんでも相談"

本協会では、スポーツ医事・トレーニング相談事業の一つとして、スポーツ愛好者や選手のけが、病気、栄養について、また体力や種目の特性に応じたトレーニング方法についてなど、スポーツに関することの無料相談を受け付けています。下記の方法でお問い合わせください。

- 1 電話によるご相談 TEL 024-521-7896
- 2 FAXによるご相談 FAX 024-521-7971
- 3 メールによるご相談 E-mail info@sports-fukushima.or.jp

### スポーツ安全保険

スポーツ・文化・ボランティア活動に最適な保険です。  
5名以上でご加入下さい。

お問い合わせ

(財)スポーツ安全協会福島県支部  
☎024-526-4600

### (財)日体協公認スポーツ指導者資格取得について

日頃スポーツに親しんでいる皆さん、スポーツ指導のための公認資格を取得してみませんか？  
財団法人日本体育協会では、主に地域スポーツにおいて各年代に応じた指導を目的とする「地域スポーツ指導者資格」と主に地域スポーツにおいて競技力育成を目的とする「競技力育成資格」などがあります。ここでご紹介したいのは、地域スポーツ指導者資格である「指導員」です。資格の取得の仕方は共通科目と専門科目を受講し、検定試験に合格すれば認定されます。  
「指導員」の申し込み期間は6月30日まで本協会へ所定の申込書にて提出するようになります。18年度に本県で開催する「指導員養成講習会専門科目」は水泳、陸上、ソフトテニス、スキー、卓球の5種目を予定しております。その他の種目については、他県にて開催されますので、詳しいことは本協会生涯スポーツ係までお問い合わせください。

お問い合わせ (財)福島県体育協会生涯スポーツ係 ☎024-521-7896

## 平成17年度福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

### ■法人・団体の部(加入順)

(株)東邦銀行	福島県商工会連合会	(株)クラロンスポーツ	福島県信用組合協会
福島県信用金庫協会	福島県信用保証協会	(有)ホンダ印刷	(有)吾妻印刷
(株)ホン製作所	福島県旅館ホテル生活衛生同業組合	キング印刷(株)	(株)福島民報社
福島民友新聞(株)	東亜道路工業(株)福島営業所	福島県議会スポーツ振興議員連盟	磐城通運(株)
合資会社「東館」	福島テレビ(株)	東信建設(株)	佐藤工業(株)
福島交通(株)	(株)アルティア橋本福島工場	(株)東北装美	ゼビオ(株)
(株)環境分析研究所	(株)古瀧	(株)モリヨシ技研	花春酒造(株)
福島県ゴルフ連盟	(株)ウエディングエルティ	呉羽環境(株)	関場建設(株)
新田産業(株)	(有)番場産業	東北建設(株)	(株)ひらい
東開クレテック(株)	庄司建設工業(株)	富岡町体育協会	福島県中央商工振興協同組合
大和自動車交通(株)	原町港湾運送(株)	福島日産自動車(株)	福島県建設業協会双葉支部
福島トヨタ自動車(株)	タニコー(株)	(株)福島中央テレビ	楡葉町体育協会
クリナップ(株)いわき事業所	東京電力(株)福島事務所	(株)アクト	東北電力(株)福島支店
山木工業(株)	(株)山川印刷所	(株)民報印刷	小名浜製錬(株)小名浜製錬所
呉羽化学工業(株)錦工場	福浜大一建設(株)	(株)加地和組	クレハ建設(株)
福島運送(株)	錦興業(株)	(株)福島テレビエンタープライズ	(株)渡辺組
(株)日進堂印刷所	堀江工業(株)	トップツアー(株)福島支店	大塚製菓株式会社山出張所
陽光社印刷(株)	名木製帽店	(株)松崎	(株)海老名建設
(株)高橋建設	江花建設(株)	アサヒ通信(株)	福島ガス(株)
(株)ダイユーエイト	(株)ヤクルト本社福島工場	寿建設(株)	福島ヤクルト販売(株)
六陽印刷(株)	タカラ印刷(株)	タナカ(株)情報ビジネス福島営業所	(有)エンドースクリーン
(株)NIPPOコーポレーション福島支店	ふくしまスポーツネットワーク	北斗印刷(株)	オノヤスポーツ(株)
名鉄観光サービス(株)	日本スポーツ振興センター	スポーツニッポン新聞社福島支局	(株)レオック東北

### ■個人の部(加入順)

片平 俊夫	菅野 正行	下山田好宏	北村 孝男	本宿 尚	結城 勝夫	佐藤 十次
星 本文	内藤 繁	斎藤 久男	吉田 政勝	林 幸夫	朽木 耕作	岩本 忠夫
青木 稔	佐藤 昌志	前田 長	五十嵐源一郎	矢内 哲郎	本田 俊教	花井 宣明
星 光一	三瓶 昌久	国井 裕一	長岐 博	岩田 徹	伏見 俊哉	鈴木 浩一
服部 啓吉	吉田 伸一	穴戸 正幸	鈴木 義祐	佐藤 謙敬	橋 和彦	七宮 成夫
遠藤 均	福本 隆	上竹 毅	荒川 信郎	渡辺 知幸	渡辺 正仁	伊藤 隆司
真田 実	小椋 裕	滝田 勝彦	稲村 泰伸	菅波 智之	福士 寛樹	宗形 俊二
西郷 徹夫	神野美智男	柴山 進	須藤 博	関 博之	永澤 悦	佐藤 武彦
穴戸 啓光	池田 昭宏	佐藤 信行	宗田 昌史	長谷川清治	柳沼 徹	渡辺 洋司
酒井 卓	酒井 卓夫	佐藤 弘樹	星 香里	矢澤 良伸	廣瀬 敬彦	田中 邦宏
東城 正幸						

加入のお願い

「福島県県民スポーツ振興協力会」は、「ふくしま国体」の成功を契機に設立され、10年目を迎えました。この協力は、生涯スポーツを推進し、県民の「だれもが、いつでも、どこでも」気軽にスポーツに親しむことができるようにするために、また、県の競技力の維持・向上を支援するために活用されています。

本協会の趣旨を御理解いただき、会員は年々増加しておりますが、より多くの方にご加入いただき本県のスポーツ振興を支えていただきますようお願いいたします。

- 加入期間……入会後5年間
- 協力金額……毎年度あたり1口1万円。1口以上何口でも可。
- 加入窓口……財団法人福島県体育協会事務局 総務係 TEL024-521-1291

### 広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設、育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

#### うつくしま広域スポーツセンター (県体育協会事務局内)

福島市杉妻町5番75号福島県庁東分庁舎3号館  
http://www.u-kouki.jp/USC/uSCTop.html  
E-mail utsukushima@u-kouki.jp

TEL 024-526-4680  
FAX 024-526-4681

#### 浜通り広域スポーツセンター (富岡町教育支援センター内)

双葉郡富岡町大字小浜字中央464-4  
http://www.u-kouki.jp/HDSC/hamaSC.html  
E-mail hama@u-kouki.jp

TEL 0240-21-1711  
FAX 0240-21-1712

#### 中通り広域スポーツセンター (たまか文化体育館内)

石川郡玉川村小高字大谷地71  
http://www.u-kouki.jp/NDSC/nakaSC.html  
E-mail naka@u-kouki.jp

TEL・FAX 0247-57-2585

#### 会津広域スポーツセンター (会津若松市民ふれあいスポーツ広場 ふれあい体育館内)

会津若松市一箕町大字八幡字八幡2の1  
http://www.u-kouki.jp/ASC/ASC.html  
E-mail aizu@u-kouki.jp

TEL 0242-37-0588  
FAX 0242-37-0933

### 編集後記

トリノオリンピックやWBCでの、日本の活躍は本当に元気と勇気をあたえてくれました。あらためてスポーツのすばらしさを感じさせてくれます。本県でも、平成17年度表彰式を見てみると、全国大会で活躍する選手が多くなりました。ユニバーシアード(世界大学生大会)で優勝した水泳の山口選手等、世界で活躍できる選手も出てきました。近い将来、本県出身者がすばらしい感動をあたえてくれる機会が増えることを期待しています。

※本誌は、財団法人福島県スポーツ振興基金助成事業(スポーツ情報提供事業)により作成したものです。